



地震に強い家づくり



巻頭でも掲載しているように、規模や被害状況など、すべてにおいて想定外だった熊本地震。連日のニュースを見て、住宅の耐震化の大切さを改めて感じた方も多いはず。今回、市内で耐震工事の現場を取材させてもらうことができましたので紹介します。(編集委員/井上桂子)

強化の手法

お伺いしたのは、野市町のある民家。建築年は昭和52年で、築40年を迎えようとする土壁の日本家屋です。土壁の場合、まず内装のクロスや外側に貼ってあるトタン板などをはがすことから始まります。土壁の中に筋交いが入っていない場合は、筋交いを入れた上でさらに上部と下部に柱と筋交いを固定するための金具を取り付けます。筋交いが入っている場合は、金具で固定した上で、壁の補強に取り掛かります(写真①)。



1

家の四隅は、柱と土台の木材、さらに基礎のコンクリートを固定するアンカーボルトを打ち込み、強度を上げます。こうすることで強い揺れで柱が飛び上らないようにするのだそうです(写真②)。



2

筋交いがなかった所には新たに筋交いを入れ、耐震ボードで内壁を補強します。この耐震ボードは厚さ9ミリで、強度はこれまでの壁と比べ3倍以上にアップすること(写真③)。



3

耐震ボードの施工が終わると、その上にベニヤ板とクロスを貼っていきます。外壁は、湿気を防ぐ防湿シートを貼って、再び元に戻します(写真④)。



4

玄関部分や犬走りコンクリートには揺れによるひび割れを防ぐため、カーボンメッシュが埋め込まれました。県の防災関連登録品で鉄筋より強いとのこと(写真⑤)。



5

この工事は、1週間ほどかけて行われました。施主の方の話によると「市の補助金の利用ができたことが決断の決め手になった」とのことでした。もしもの時、命を守るために皆さんも家の耐震補強をしておきましょう。

※耐震補強などの補助金は4ページに掲載しています

あじさい街道

野市町西佐古
父養寺

野市町西佐古から父養寺の1.2kmの街道を19,000株のあじさいが美しく彩ります。6月19日(日)までの毎週土・日曜日には、地元の人たちが運営する産直市「あじさいのいち」が開催され、地元で採れた新鮮野菜や田舎寿司、あじさいの苗などを販売します。のんびりと歩いてみませんか?

6/12(日)は午前9時から餅つきを開催します!



▶ 昨年の様子

《広報へのメール》
kouhou@city.kochi-konan.lg.jp
《香南市のホームページ》
http://www.city.kochi-konan.lg.jp

i 広報誌

スマホで
広報を見よう

i 広報誌アプリの
ダウンロードは
こちらから